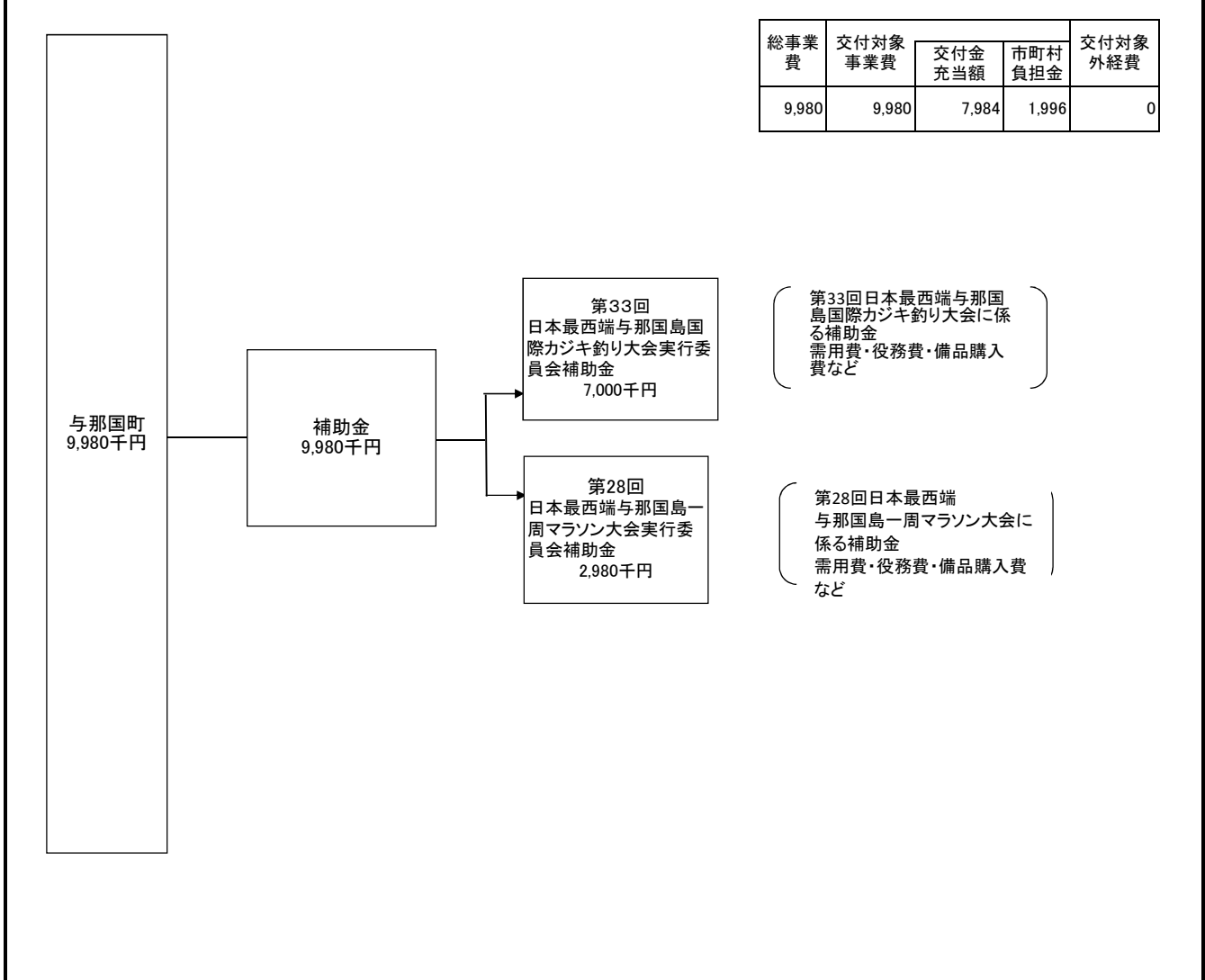


市町村名		与那国町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	地域振興対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	地域振興を図るため、日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会の開催及び日本最西端与那国一周マラソン大会の開催の支援を行う						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(b) 予算現額	10,000	10,000	0	0	13,000
		(c) 増減額(b-a)	10,000	10,000	0	0	13,000
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	0
		B. 執行済額	10,000	10,000	0	0	9,980
		うち交付金充当額	8,000	8,000	0	0	7,984
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			76.8%
		予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響により、規模縮小による開催となったため				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		カジキ釣り大会の補助(7月)	目 標	(カジキ釣り大会開催)	(カジキ釣り大会開催)	(カジキ釣り大会開催)	(カジキ釣り大会開催)
		実 績	カジキ釣り大会開催	新型コロナウイルスの影響にて中止	新型コロナウイルスの影響にて中止	規模縮小にて開催	
	一周マラソン大会の補助(11月)	目 標	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	
	実 績	マラソン大会開催	新型コロナウイルスの影響にて中止	新型コロナウイルスの影響にて中止	規模縮小にて開催		
達成状況説明	日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会・日本最西端与那国一周マラソン大会共に、3年ぶりに開催した。新型コロナウイルスの影響を鑑み、規模を縮小しての開催となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(R1年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)	
		カジキ釣り大会開催月(7月)の入域観光客数	目 標	(2,943人)	(3,000人)	(3,000人)	(3,000人)
		実 績		2,250人	1,742人	3,346人	
		マラソン大会開催月(11月)の入域観光客数	目 標	(3,565人)	(3,500人)	(3,500人)	(3,500人)
	実 績		3,062人	2,616人	2,504人		
	進捗状況説明	3年ぶりのイベント開催となったこと、コロナウイルス感染症が落ち着いてきたこともあり、観光客は増加したが、夜間の催しを開催しなかった影響により11月の入域観光客数は成果目標を下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、数年大会自体の中止や規模を縮小しての開催となっている。また、大型宿泊施設の撤退や施設の老朽化・担い手の高齢化等を理由に島内の宿泊施設が減少しており、参加者の宿泊施設の確保について懸念される。	新型コロナウイルス感染症に関しては、現状イベントに対する規制も緩和されており、基本的な感染症対策を行いながら安心して参加できる大会を目指す。課題である宿泊施設については、新規宿泊事業者との連携や既存施設(公民館等)での宿泊者受入等も検討しながら確保に努める。
今後の取り組み方針		
令和4年度、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、規模を縮小して開催したが、令和5年度に関しては通常の夜間21:00までの開催を予定している。カジキ釣り大会においては、日中のみの開催による参加者減の対策で行ったウォータースライダーが好評だったため、今年度も取り入れ年齢・釣り縛られずたくさんの方が参加できる大会を目指す。マラソン大会については、宿泊施設の減少に対する課題については、既存施設(公民館・古民家や移住促進住宅・期間限定従業員用宿舎(製糖工場職員宿舎))の借用による宿泊施設の確保を計画している。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



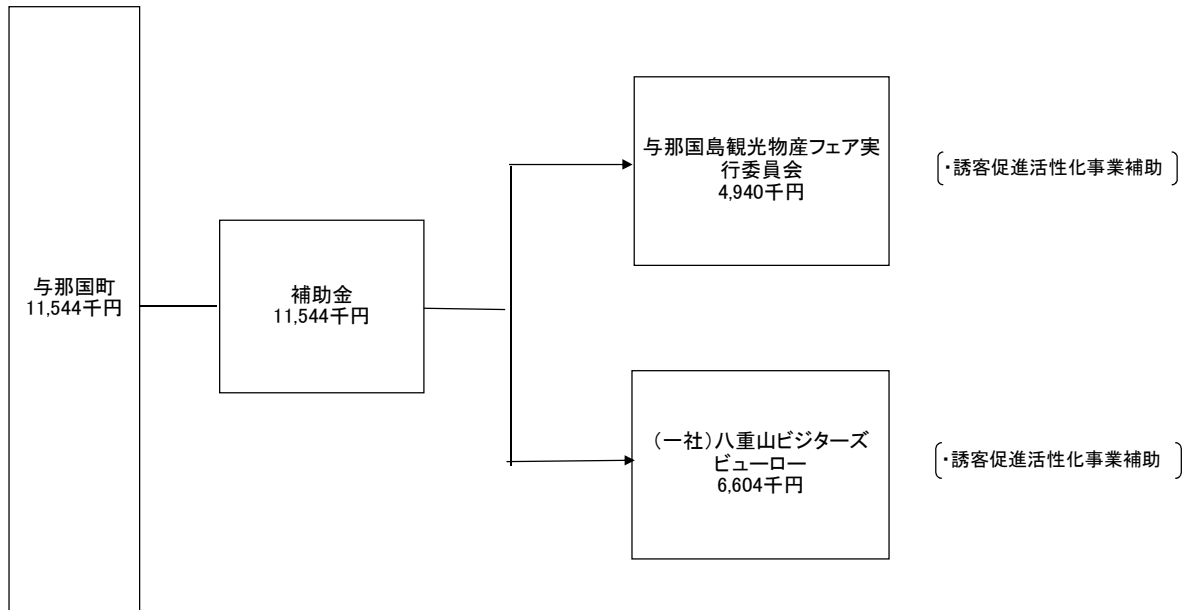
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・カジキ釣り大会及びマラソン大会からの申請をうけ、要綱・事業内容を確認の上で補助金交付を決定しており妥当と考える。 ・費用・使途に関しては事業目的の観点から、支出の必要性を確認しており、適正であった。 ・委託事業者の選定については、企業組織の事業内容や実績を勘案した上で選定しており、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	与那国町誘客促進活性化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成30～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光客の誘致・リピーターを増やすため、与那国町の魅力を伝えるツール(パンフ・ポスター等)を作成し、与那国町のアピール・周知に活用させることで、効率的・効果的な誘客活動を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	5,034	13,034	7,000	7,000	16,000
	(b) 予算現額	5,034	12,095	5,792	6,201	16,000	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲939	▲1,208	▲799	0	
	(d) 繰越額			0			
	A. 計(b+d)	5,034	12,095	5,792	6,201	16,000	
	B. 執行済額	5,034	12,095	5,792	6,201	11,544	
	うち交付金充当額	4,027	9,676	4,634	4,960	9,235	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			72.2%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響が緩和されはじめ、徐々に従来の活動ができるようになってきている。物産・芸能フェアに関しては、台風の襲来によりイベント内容の変更及び日程の短縮が余儀なくなり、不用が生じたもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	・与那国島観光物産・芸能フェアの開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	実施	未実施	未実施	実施	
	・トップセールスによる空路開拓・商品造成	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	未実施	未実施	未実施	
	・PRツール作成	目標	(作成)	(作成)	(作成)	(作成)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	・既存事業の内容充実とPR強化	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	未実施	未実施	実施	
・観光客意識調査や市場調査等による情報収集と分析	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	新型コロナウイルスの影響で中止や縮小となっていたイベントの制限等が緩和されはじめ徐々に従来の事業が行えるようになってきている。10月に事業の実施計画の変更を行い、与那国町がロケ地となっているDr.コート診療所が令和4年12月に公開され、注目されていることを活かしてPRを行った。トップセールスに関しては、新型コロナウイルスの影響により、実施することができなかったため、観光フェアへの参加へ計画を変更した。また令和4年度はアイランダー(東京)への参加や那覇メインプレイス・ららぽーと甲子園(兵庫)での物産展など、例年とは異なる機会や場所でのPRをすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)	
		目標	()	(5,000人)	(5,000人)	(4,000人)	(4,000人)
	・物産・芸能フェアの来場数	実績		0人	0人	903人	
		目標	()	(1,750人)	(1,750人)	(1,750人)	()
・チャーター便確保 25便/年	実績		17人	0人	411人		
	進捗状況説明	【物産・芸能フェア】開催日前日の台風の影響で飛行機が欠航したことにより、与那国からのスタッフが会場入りできず、前入りしていた少人数のスタッフのみでの開催となった。また、予定していたプログラムや芸能公演・与那国馬との記念撮影等が中止となり、さらに、悪天候によりイベントが一日短縮したことにより、来場者数が伸びず、成果目標を達成することができなかった。 【チャーター便】大型宿泊施設の休館及び事業者の高齢化や施設の老朽化等の理由により、与那国町の宿泊施設が不足しており、チャーター便利用者が島で宿泊することが困難であることから、滞在時間4時間程度の日帰りプランでの就航となり、結果、成果目標を達成することができなかった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	様々な機会や場所でPRしているが、宿泊施設の休館等により、島内での宿泊施設が不足していることが課題となっている。	宿泊施設等と連携を取り、情報発信ツールやSNS等を取り入れ、情報発信及び観光客受け入れ態勢の強化・整備を行う。
	今後の取り組み方針	
<p>・今後も継続して沖縄県内外でのプロモーション活動を行い、観光誘客を図る。</p> <p>・旅行者や島外からの宿泊利用者がどのように宿を予約しているか調査し、宿泊施設を検索方法の傾向を探ることで、周知されていない宿や、営業していない宿、業者を限定している宿、期間を指定しての契約がある宿、民泊等情報の整理を行う。また、宿泊業者との意見交換や問題点等を把握する等の連携を密に図り、パンフレットやSNS、HP等を利用して宿泊情報を発信する。宿泊施設の情報案内も併せて行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,544	11,544	9,235	2,309	0



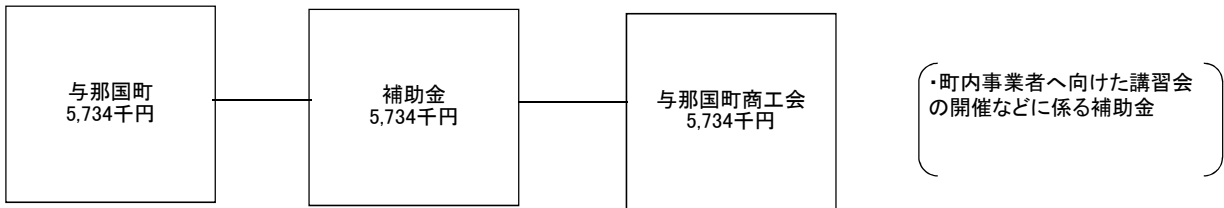
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・八重山観光関係を網羅する一般社団法人であるため妥当と考える。</p> <p>・費用・使途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであると判断した。</p> <p>・一部実施できなかった業務内容は、やむを得ない理由によるものであり、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名		与那国町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	与那国島特産品アピール力強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-イ	
	担当部署名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	与那国町の特産品の販路の拡大や売上のアップを目指し、販売促進についての講習会を開催及び県内外の物産展への出展を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
	(b)予算現額	8,000	6,835	1,252	3,354	8,000	
	(c)増減額(b-a)	0	▲1,165	▲6,748	▲4,646	0	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	8,000	6,835	1,252	3,354	8,000	
	B.執行済額	6,288	6,835	1,252	3,355	5,734	
	うち交付金充当額	5,030	5,467	1,002	2,683	4,587	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	78.6%	100.0%			71.7%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響で縮小されていたイベント・物産展等が徐々に再開され、R2・R3年度と比較し、予算執行額も増えている。不用額については、令和4年度の離島フェアに業者の出展を予定していたが、2業者遺贈の出店ができない運用であったことによるもの。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・県内での物産展出展1回以上	目標	(1回以上)	(1回以上)	(1回以上)	(1回以上)	
		実績	1回	0回	0回	1回	
・県外での物産展の開催または県外で開催される物産展への参加	目標	(1回以上)	(1回以上)	(1回以上)	(1回以上)		
	実績	1回	0回	0回	1回		
達成状況説明	令和4年度は県外・県内共に与那国町独自の物産展を開催することができた。 県内:令和5年1月 サンエー那覇メインプレイス 与那国フェア 県外:令和5年2月 ららぽーと甲子園 与那国フェア						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	全体参加物産展ごとの売上200万円以上	目標	()	(190万以上)	(170万円以上)	(200万円以上)	()
		実績			0円	0円	254万円
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	令和4年度は、3年ぶりに県外で与那国フェアを開催することができた。関西初出店のららぽーと甲子園(兵庫)であったが、11業者が出展し、これまで開催されたららぽーとでの県外物産展で最高の売上額となった。令和4年度与那国町をロケ地とした映画が公開されたことで、与那国町の知名度がアップしたことや映画関連グッズを取り扱ったことがプラスの要素のひとつとなっている。また、県内では、映画が上映されていた那覇メインプレイスにて初の与那国フェアを開催することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	業者の意欲や事業規模により、商品の数が準備できなかったり、出展意欲が欠けていたりとはらつきがる。	販路開拓や島外での出展意欲が高い業者や新規事業者をフォローできるように援助するとともに、食品表示やネット・SNSを活用した販売方法、新商品の造設等広い範囲に目を向け取り組んでいきたい。
今後の取り組み方針		
<p>新商品の開発・販路の開拓に重きを置き、各社個々の課題解決を図り、将来的に島外への販路につなげていきたい。また、特産品製造業者の売上が拡大することで、生産力・継続力を培っていけるよう意識づけを行いながら支援していきたい。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,734	5,734	4,587	1,147	0

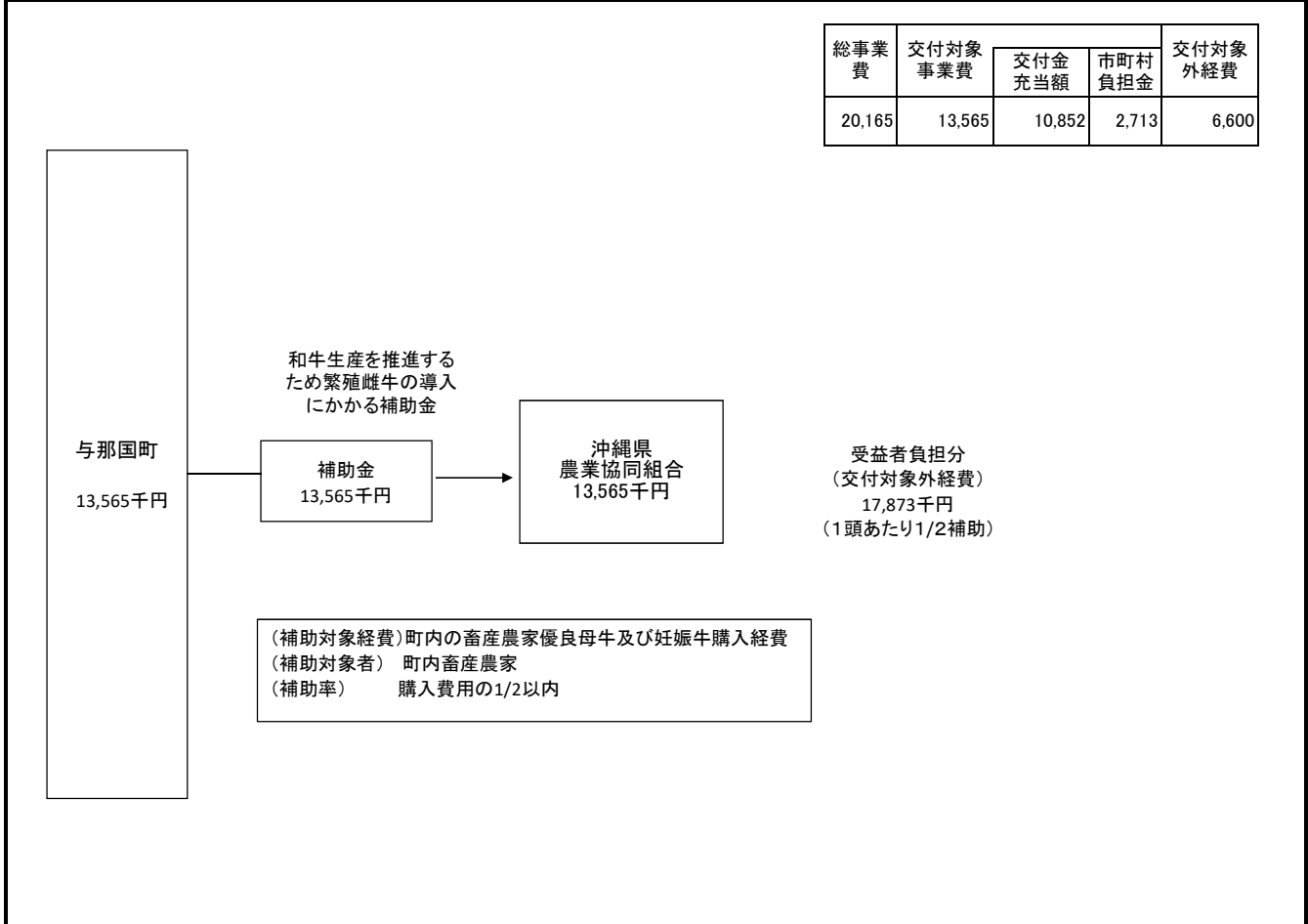


資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の支出先は、与那国町特産品強化事業補助金交付要綱に基づき選定 ・資金使途や費用項目については事業目的の達成の観点から必要性を確認 ・費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	優良牛繁殖雌牛導入事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化		
事業内容	農家の経営の安定化に向けて、生産する子牛の品質及び価格を向上させるため優良繁殖雌牛の導入を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		10,000	12,500	15,000	15,000	18,000
			15,000	14,000	15,000	15,000	18,000
			5,000	1,500	0	0	0
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	10,891	13,501	11,456	11,023	13,585
		うち交付金充当額	8,712	10,801	9,164	8,818	10,852
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	72.6%	96.4%			75.5%
		予算の状況の説明	・計画の導入頭数についてはセリ価格の変動があるものの、当初導入を予定していた30頭を支援しており、適切に実施している。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・優良母牛導入の支援:30頭	目標	(25頭)	(30頭)	(30頭)	(30頭)	
		実績	30頭	30頭	30頭	33頭	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
	達成状況説明	・本事業で優良母牛の購入の一部支援を行うことで、優良母牛購入を希望する畜産農家は多く、新規就業者の増加及び畜産農家の経営の安定化が図られた。また、活動目標について、当初予定していた30頭を上回る33頭支援することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上	目標	()	(115%以上)	(114%以上)	(115%以上)	()
		実績		115.6%	119.3%	120.4%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
	進捗状況説明	・子牛の価値を計るセリ価格は、他の要因により全体的な価格の高騰や低落等が起きやすいものの、優良母牛から生まれた子牛が増頭しているため、優良母牛以外から生まれた子牛との平均価格差の割合も上がりR4は目標の115%以上の120%を達成した。今後も優良母牛の導入を継続すれば子牛の価格差割合の向上が期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢による飼料高騰が影響し肥育業者の買い渋りが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢などでのセリ価格の変動や飼料高騰に対し当町として助成を行い安定的な畜産業を推進する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度についても優良母牛から生まれた子牛の価格は安定していることから、優良母牛を増やすとともにその母牛から生まれた自家保留母牛の増頭を図り、畜産農家経営の安定化に向け取り組む。 令和5年度についても、飼料購入に対する持続的な助成を行うが牧草については自家飼料割合を増やすため草地造成等事業を行うことで安定的な畜産経営を推進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

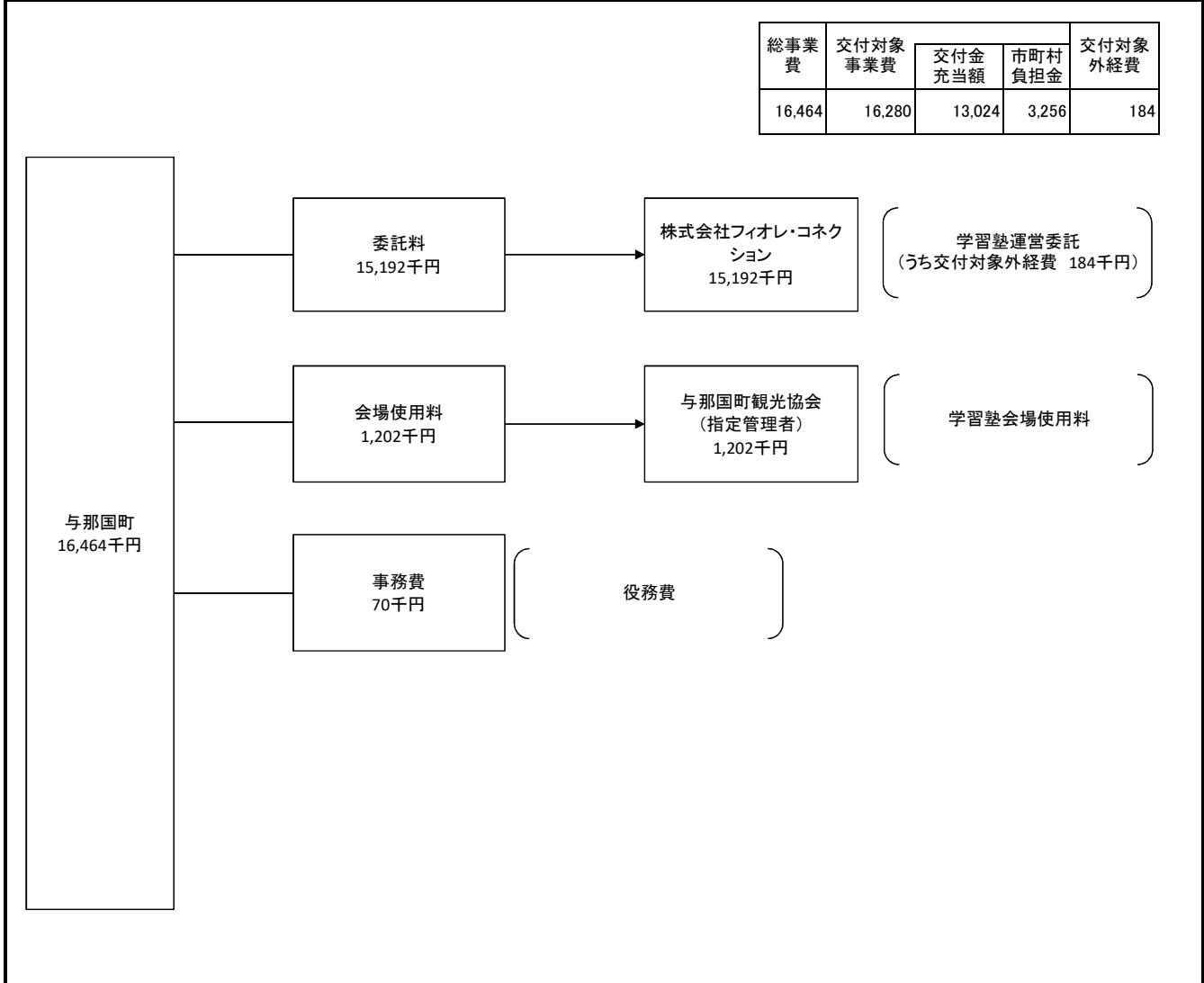


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の支出先については、農協を窓口として畜産農家を対象としていることから、支出先として妥当であったと考える。 予算の規模については子牛の価格高騰が続く中で妥当であったと考える。 受益者との負担関係については、導入価格の1/2を負担額として決定しており妥当であったと考える。 費目、用途については事業目的に即し真に必要なものか等確定時において支出等に関する書類により確認。適正だった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 家庭学習支援モデル事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(1)-ア		
	地域を知り、学びを深める環境づくり		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
担当部署名	教育委員会教育課		事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度			
事業内容	町内の小中学生の学力を向上させるため、学習習慣の確立補助を目的とした町営の学習塾を運営し、地理的、経済的要因等に左右されない教育環境の整備、都市部と同程度の教育環境の実現を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	19,657	20,996	21,457	18,448	20,100
	(b)予算現額	19,737	19,438	16,060	16,460	18,600	
	(c)増減額(b-a)	80	-1,558	-5,397	-1,988	-1,500	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	19,737	19,438	16,060	16,460	18,600	
	B.執行済額	19,180	18,616	13,550	11,983	16,464	
	うち交付金充当額	15,343	14,893	10,840	9,411	13,024	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	97.2%	95.8%			88.5%	
予算の状況の説明	・予算の減額は、委託料の入札残を1,500千円減額した。 ・不用額は台風等の気象及び新型コロナウイルス感染症の影響による授業の中止に伴い、委託費等の減が生じたことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	町営学習塾において学習指導の実施		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
達成状況説明	・オンライン集合授業にて、遠隔地にいる講師と与那国町を接続し学習指導を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(R2年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R5調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生国語:-1.0ポイント以内		目標 (-1)	()	(-1.0以内)	(-1.0以内)	(-1.0以内)
			実績		7.8	1.3	
	全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R5調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生算数:-0.8ポイント以内		目標 (-0.8)	()	(-0.8以内)	(-0.8以内)	(-0.8以内)
			実績		4.1	-0.7	
	全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R5調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 中学生国語:+1.6ポイント以上		目標 (1.6)	()	(+1.6以上)	(+1.6以上)	(+1.6以上)
		実績		-0.7	-5.8		
全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R5調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 中学生数学:-1.9ポイント以内		目標 (-0.9)	()	(-1.9以内)	(-1.9以内)	(-1.9以内)	
		実績		-7.5	-13.8		
進捗状況説明	・令和5年度の全国学力・学習状況調査に向け学習指導を実施した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・R4年度の全国学力・学習状況調査(R3成果目標)において、塾会場が設置されている地域と設置されていない地域とで正答率に差が生じている。	・会場が設置されていない地域の子どもたちも通塾できる方法を検討する。
今後の取り組み方針		
・通塾率を向上させるため会場が設置されていない地域に学習会場を増設し、家庭学習の定着、学力の向上を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 途の流れ、 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の11.5%となった。これは台風や新型コロナウイルス感染症の影響により授業が実施できなかったためであり、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	教育諸活動助成事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ア	
担当部署名	与那国町教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を知り、学びを深める環境づくり		
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	10,000	10,000	10,000	8,000
		(b) 予算現額	10,000	10,000	4,000	5,400	8,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 6,000	▲ 4,600	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	10,000	10,000	4,000	5,400	8,000
		B. 執行済額	8501	6162	2705	5,114	5,918
		うち交付金充当額	6801	4930	2163	4,042	4,735
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	85.0%	61.6%			74.0%
予算の状況の説明	各学校にて計画をし、感染防止対策をとりながら大会・コンクール等に参加した。新型コロナウイルス影響による体調不良、天候不良による飛行機の欠航等で参加が難しいなかでも積極的に参加できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	各種大会派遣の実施	目標	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	
		実績	派遣回数47回	派遣回数19回	派遣回数39回	派遣回数49回	
	各種大会派遣人数(過年度活動目標)	目標	(443)	(300)	(530)	(500)	
		実績	363	134	206	341	
達成状況説明	体調不良や悪天候等により大会へ参加できず、目標には至らなかったが、前年度に比べ派遣人数が135名の増となり、多くの児童生徒が活躍し貴重な経験ができた。大会へ参加した児童生徒へ補助を行い保護者の負担軽減になった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対しアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	()	(80%)	()
		実績		100%	未実施	54%	
	【参考指標】各種大会派遣人数	目標	()	(300)	(530)	(500)	()
		実績		134	206	341	
進捗状況説明	視野が広がったと回答した保護者は54%なり、目標の80%を下回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>前年度に比べより多くの大会に参加することができたが、今年度も新型コロナウイルス感染の影響もあり、また、悪天候により、交通機関が運休のため、大会へ参加できず、日々取り組んできたことを発揮する場が減った。</p>	<p>・新型コロナウイルスの影響により体調不良等や離島の特色性による問題ではあるが、派遣事業により、島内の児童生徒が平等に大会に参加できるようにしたい。</p> <p>・事務手続き、記入方法や添付書類等わかりやすい案内を引き続き心がける。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・学校と連携しながら、補助金交付要綱の見直しを行い、円滑に対応できるよう努める。</p> <p>・各申請者にヒアリングをし、きめ細かく必要とされる事業費積算の見直しをしていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,918	5,918	4,734	1,184	0

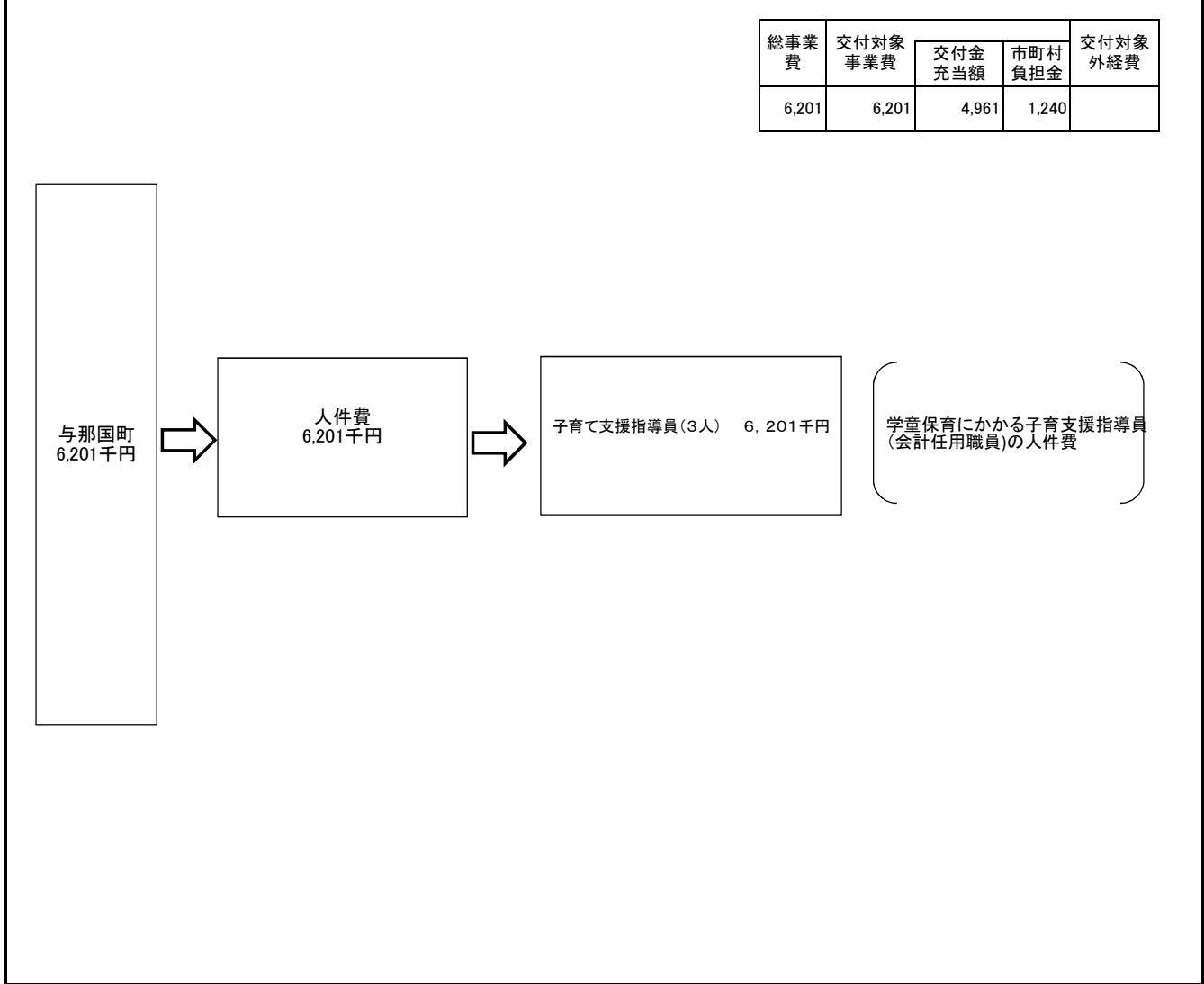


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校から申請や交付金要綱等に基づき補助を行っており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・新型コロナウイルスの影響や天候により大会へ参加できないこともあったが、適正な予算規模であると考えます。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・航空運賃や宿泊費以外の経費については、受益者が負担していることから妥当であると考えます。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、実績報告書で審査しており適切であると考えます。

市町村名	与那国町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	安心・安全のまちづくり支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部署名	長寿福祉課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	子育ての環境を支援するため、就学前児童及び小学校3年生以下を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一角を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育てを支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,473	5,370	7,317	7,254	7,504
		(b) 予算現額	3,991	4,510	4,942	7,254	7,504
		(c) 増減額(b-a)	▲1,482	▲860	▲2,375	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		3,991	4,510	4,942	7,254	7,504
	B. 執行済額		3,991	4,395	4,942	4,369	6,201
	うち交付金充当額		4,276	3,192	3,516	3,954	4,961
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.5%			82.6%
予算の状況の説明		指導員3名への報酬及び手当等を当初予算に計上していたが、欠員期間が生じたため、不用が生じたもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	預かり保育の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
お迎えバスの運行	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績		実施	実施	未実施		
達成状況説明	、一年間をとおして継続的な人材確保が難しい状況であったが預かり保育の実施を行うことができた。お迎えバスに関しては幼稚園のスクールバスが対応することになり今年度の直接実施は無かった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R2年度	R4年度	目標値(年度)
	安心・安全に子どもを預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(85%)	(85%)	(85%)	()
		実績		97%	91%	94%	
			目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	アンケートの結果、94%の保護者が負担感が軽減されたと回答しており、目標の85%を9ポイント上回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 現在使用している施設は、幼児用のトイレについても大幅な修繕工事を行ったが手洗い場の複数箇所の確保等が必要等、使い勝手の悪い部分がある。 指導員の確保において、今年度においても保育士の資格を保有している人材確保が課題であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の利便性の向上を図るための対策が必要である。 保育士免許保有者を確保するための、人材育成事業を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 施設の利便性向上については、予算の範囲内で改修、修繕を行っていく。 令和4年度末から、町内で保育士資格取得に対して通信教育等で資格取得人材育成事業の取り組みが始まっており、次年度についても継続して取り組んでいく。 指導員のスキルアップのため、島外への研修派遣の実施。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

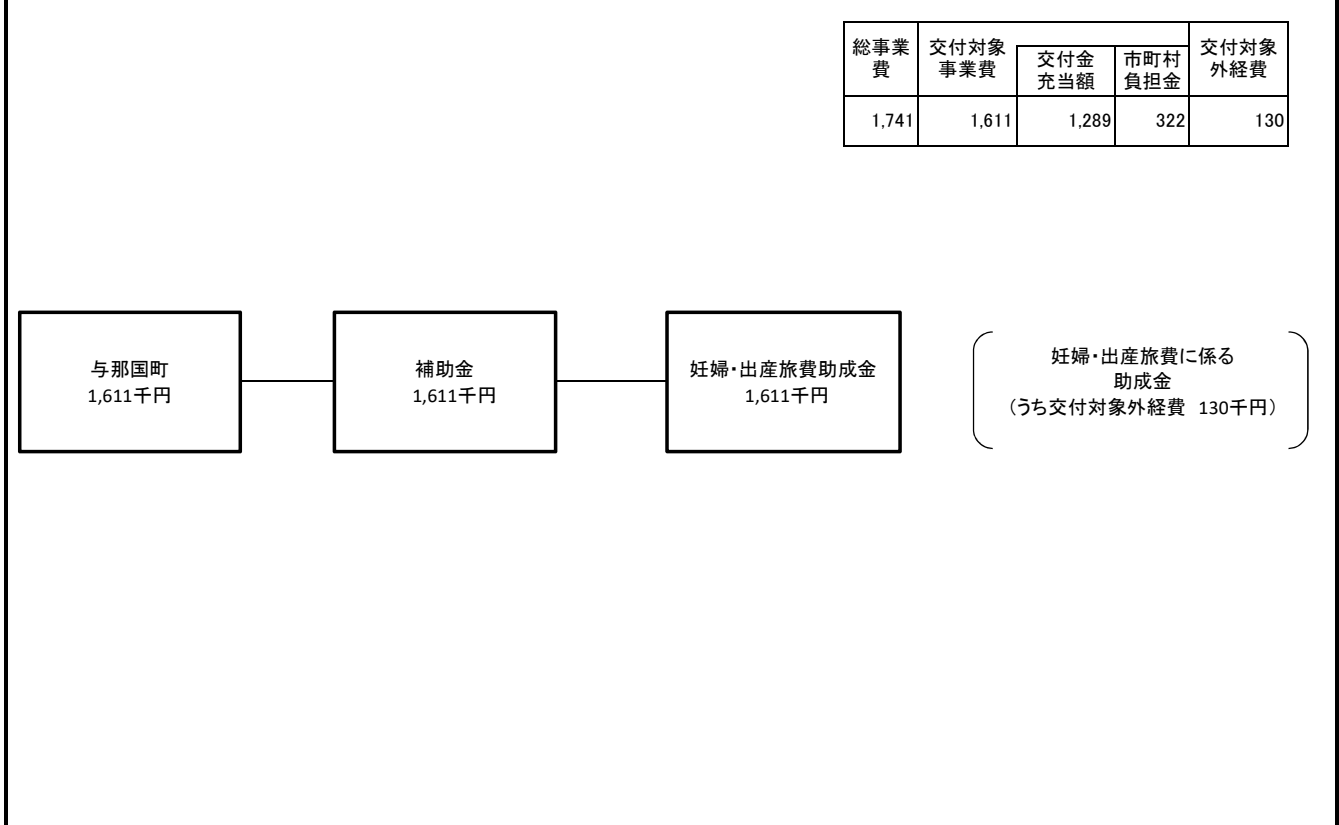


資金の流 れの 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり人数が35名前後の規模であり、支援指導員の配置人数(3名。1職員15名程度)の配置は適正と判断している。 ・費目・用途については事業目的達成のためにも必要な経費に支出されていることから予算規模は妥当と考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①		少子高齢化対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
	担当部署名	長寿福祉課		事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実
事業内容		本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産又は専門医療を受けるためには、島外の石垣島へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。					Ⅲ-4-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	2,228	1,046	1,046	1,300	1,300
	(b) 予算現額	1,328	1,021	1,321	1,300	1,300	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 900	▲ 25	275	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	1,328	1,021	1,321	1,300	1,300	
	B. 執行済額	1,272	1,021	1,220	764	1,611	
	うち交付金充当額	764	1,117	976	976	1,289	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	95.8%	100.0%			123.9%	
予算の状況の説明		前年度と同様の予算を措置したが、補助額が見込みよりも増加したため当初予算を上回る状況となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	妊産婦定期健診の実施(H30-R2活動目標・妊産婦定期健診・出産時の渡航費、宿泊費の助成事業)		目標 (渡航費補助)	(渡航費補助)	()	()	
			実績 渡航費補助	渡航費補助			
妊産婦一人当たりの受診回数:12回/人		目標 (-)	(-)	(12回)	(12回)		
		実績 -	-	8回	4.5回		
達成状況説明		今年度については23名の対象があり、子育て世代の負担軽減を図ることができた。 ・活動目標は島外の健診受診者を対象としており、島内での出張健診を受診した方がおり活動目標実績は減少した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	島内での妊産婦定期健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合100%		目標 ()	(100%)	(100%)	(100%)	()
			実績	100%	100%	100%	
	【参考指標】妊産婦定期健診、渡航費の助成対象者		目標 ()	(-)	(-)	(-)	()
		実績	20名	22名	23名		
進捗状況説明		年度ごとの支援対象となる妊産婦数は、転入転出者の状況に応じて変化が大きい。与那国町へ赴任してきた子育て世代においても、当該事業の周知徹底を行い、とりこぼすことなく有効に活用していることから、離島においても安心して出産の計画が立てられることが周知され、子育て世代の移住者の定住促進にも効果を示すものである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>出産年齢の上昇傾向に伴い、妊娠期間に入院するケースや定期健診以外でも受診が必要なケースが増えてきている。安心して妊婦健診や医療機関受診ができる環境を整備することが大事。また、妊婦の実父母が高齢となり、里帰り出産ではなく石垣で出産待機する妊婦が増え、身体的にも経済的にも妊婦の負担が増大している。</p>	<p>令和4年度より子育て世代包括支援センターを設置し、産後ケア事業や産婦健診事業を開始してきたなかで、産前産後における妊産婦の負担等の実情がみえてきた。妊娠中から子育て期間を通して、個々の課題を丁寧にみていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>引き続き子育て世代包括支援センターを中心とした支援や、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施におけるアンケート等から、妊産婦のニーズを把握していく。引き続き、同事業を実施するとともに、個々の支援や経済的支援、安心して過ごせる地域づくりを統合的に取り組んでいく</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・妊産婦通院費助成金交付申請において、対象者を確認していることから適正と判断している。</p> <p>・定期健診及び出産のための、移動経費、宿泊費について一般的な料金体系を参考に判断している。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成のためにも必要な経費に限定して支出している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	公共交通路線支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-エ		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実化		
事業内容	地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するための必要な条件整備すると共に、来島者の利便性向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,349	12,610	12,843	12,850	12,850
		(b) 予算現額	18,526	12,587	12,843	12,850	9,291
		(c) 増減額(b-a)	5,177	-23	0	0	-3,559
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		18,526	12,587	12,843	12,850	9,291
	B. 執行済額		18,526	12,587	12,843	12,844	9,291
	うち交付金充当額		14,820	10,070	10,274	10,274	7,432
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			100.0%
予算の状況の説明		計画通りに事業を実施し、適正に予算を執行した。予算の減額は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	公共交通路線バス運行費用への支援		目標 (運行支援)	(運行支援)	(運行支援)	(運行支援)	
			実績	運行支援実施	運行支援実施	運行支援実施	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	定住するための必要な環境を維持するため、公共交通路線バス運行の支援を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	未実施	未実施	89.50%	
	【参考指標】生活路線バス: 運航便数及び乗車人数		目標 ()	()	()	()	()
			実績	3,255便/12,817人	3,265便/11,306人	2,711便/14,180人	
進捗状況説明	概ね計画通り生活路線バスの運行を支援し、定住条件の整備を図った。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	定住人口の増加やコロナ後の観光客の回復等に併せて、生活路線バスの利用者のニーズも変化しているため、ニーズに併せた改善が求められている。また、2台の保有車両が経年劣化により故障や点検が多くなっており、同時に使用できなくなる状況も発生しているため、計画的な車両の更新を検討する必要がある。	利用者の変化するニーズへの対応として、航空路線の運行計画の変更に合わせて、バス運行計画の調整など、改善を図っていく。
	今後の取り組み方針	
<p>アフターコロナの状況への対応は必要である、特に入域観光客数や来島者が急速に回復し増加している状況を踏まえて、島内の二次交通としての利便性を向上させるため、改めて、利用者のニーズを把握し、可能な限り改善に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,291	9,291	7,432	1,859	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○町ではこれまで、観光バス業務及びタクシー等を行っている事業者は、1事業者であったが、新規参入希望があり、6月以降分は入札を実施し落札者と契約しており、選定方法は妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は事業内容に見合った適正な規模だと考える。</p> <p>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精算等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	